

令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	14	学校名	御殿場高等学校	校長名	西川 勝啓
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

※達成状況の（ ）は昨年度数値

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
創造性を高めるとともに、深い学びにつながる授業の工夫とICTの活用を進める。	<p>校内授業公開の実施（各自2回）</p> <p>（基礎力診断テストにおけるGTZゾーンについて）入学時の学年平均数値よりも卒業時の平均が上昇している状況を目指とする。</p> <p>保護者の学習指導満足度（80%）</p>	<p>・校内授業公開週間を実施（6月、11月）</p> <p>＜1年＞基礎力診断テストに向け、対策用課題に取り組むとともに、各自で目標を立て実践するなど、基礎学力の定着を図った。</p> <p>＜2年＞基礎力診断テストに向け対策用課題を配布し、各自で目標を立て計画的に学習を進めるよう促すことで、基礎学力の定着を図った。</p> <p>＜3年＞基礎力診断テスト対策用に課題を配布し、各自に動機付けを促し、基礎学力の定着を図った。</p> <p>・学習指導に満足していると答える保護者は78.7%であった。（80.7%）</p>	B	<p>・校内授業公開週間では多くの教員が他教科の授業を参観し、アドバイスし合うなど、自らの授業を振り返る良い機会となった。専科の授業での生徒の様子を見ることのできる機会であった。次年度もより良い方策を考え実施していきたい。</p> <p>＜1年＞4月の平均GTZはC3-であった（昨年C3-）。またD3の生徒は13名（昨年11名）。学習の基礎・基本を定着させ、授業を大切にしながら、前向きな学習習慣を高めていきたい。</p> <p>＜2年＞1年次4月の平均GTZはC3-、2年時4月はD1-と低下した。下位層のD3も1年次4月が16人から、2年4月は20人と増加した。一方で上位層にA2, A3の生徒がいる。さらに伸ばしていきたい。進路に対する高い意識を持ち日々の授業に取り組むよう、学習環境を整備していきたい。</p> <p>＜3年＞1年次4月の平均GTZはC3-、2年次4月はD1-と低下した。3年次4月はD1+であった。下位層のD3の人数は、1年次11人、2年次23人、3年次15人と変化した。このほかにも授業やSPIテストへの前向きな取り組みにより、学力の定着を図っていきたい。</p> <p>・学校ホームページ、SNS等で授業の様子や研究発表会の様子を保護者に伝えていきたい。</p>

	<p>授業がわかると答える生徒 (85%以上)</p> <p>班やグループで活動するのは楽しいと答える生徒 (80%以上)</p> <p>全職員が生徒1人1台パソコンを活用した授業を行う。</p> <p>授業で効果的に ICT 機器が使われていると答える生徒 (90%以上)</p>	<p>・「授業がわかる」と答える生徒 86.2% (83.3%)</p> <p>・「班やグループで活動するのは楽しい」と答える生徒 85.3% (77.1%)</p> <p>・「授業で効果的に ICT 機器が使われている」と答える生徒 94.3% (90.2%)</p>	<p>A</p>	<p>・グループワークや ICT 活用などの満足度は高く、これらが「授業がわかる」という割合に表れている。</p> <p>・一方で、少数ながらも「わからない」と答えている生徒もおり、さらに「わかる」授業に向けた取り組みを目指していきたい。</p>
	<p>資格取得・各種コンクールへの挑戦 (年2回以上)</p>	<p>< E科 > 全国工業校長協会検定試験 (計算技術検定、情報技術検定、基礎製図検定)、第二種電気工事士、品質管理検定やフォークリフト、溶接、高所作業車等の技能講習において、計画通りに実施できた。</p> <p>< B科 > 各種全商検定試験 (ビジネス計算、簿記、ビジネス文書、情報処理の各2回、商業経済の1回) の検定や日商簿記検定の3回等の検定において、計画通りに実施できた。また、複数のビジネスプランコンテスト等に参加することができた。</p> <p>< D科 > 家庭科技術検定、サービス接遇検定、京菓子デザイン公募、高校生朝ごはんコンテスト、日本制服デザインアワードに挑戦することができた。</p>	<p>A</p>	<p>< E科 > 来年度も引き続き、各種検定試験技能講習を継続して実施する。</p> <p>< B科 > 来年度も引き続き、各種検定試験を継続して実施したい。また、各種コンクール等にも積極的に参加したいと考えている。</p> <p>< D科 > コンクールは、授業内容を深められるものを厳選していきたい。</p>

<p style="text-align: center;">イ</p>	<p>体験しながら主体的に物事を考える機会を通して、豊かな心や感性を高める。</p>	<p>人権、情報モラル、交通ルール・マナー、芸術鑑賞教室、各学科の専門等に関する講演をそれぞれ1回以上実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルに関する講演を1年生対象に御殿場警察署から講師を招き実施(4月) ・生徒対象の人権講話(ゴルゴ松本「命の授業」)を実施 ・自転車安全指導カードの発行状況は52人(11月末)で前年同時期より減少した(-45人)。一時不停止の違反が多数を占めた。 ・交通事故件数は昨年より増加して7件であった。(12月末) ・10月に小山高校と共催で芸術鑑賞教室(古典芸能)を実施 <p><E科> ①(株)日本レースプロモーションの仲介によるモータースポーツ交流(1年生)、②情報科学専門学校による出前講座(2年生)を実施</p> <p><B科> 観光コースの授業において、御殿場みくりや倶楽部の代表の方等に年間10回程度の講演を実施した。また会計コース、情報関係の授業においても外部講師を招き講演を実施した。</p> <p><D科> 保育(リトミック、劇指導)、被服(ウォーキング)、食物(ねじ梅)とそれぞれの分野で講習を行うことができた。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も引き続き実施したい。状況に応じて、オンラインでの実施も考慮したい。 ・交通講話や登校指導、何よりも日頃の交通ルール・マナーの遵守の指導により、昨年より減少した。命は何よりも大切であるという観点から自転車ヘルメット所持を新入生から義務付ける。 ・開催後のアンケートでは99%の生徒が芸術に親しむことができたと回答しており、十分に目標が達成できた。 <p><E科> ①レーシングドライバー及びチーフエンジニアから目標を達成するためのアプローチ方法やものづくりの魅力を感じることができた。②専門の講師からプレゼンテーションスキルとしての動画編集について学んだ。</p> <p><B科> 教育的効果も高いため、来年度も引き続き、どのコースの授業においても講演(授業)を検討したい。</p> <p><D科> 生徒に効果的な講演講習会が今年度以上にできるよう予算の検討をお願いしたい。</p>
--------------------------------------	--	---	--	---

	<p>読書に積極的に取り組んでいると答える生徒（80%以上）。</p>	<p>・「読書に積極的に取り組んでいる」と答える生徒 72.4% (67.0%)</p>	<p>B</p>	<p>14%の生徒は「積極的に取り組んでいない」と回答しており、これらの生徒への働きかけを行っていききたい。</p>
	<p>継続活動している生徒（90%以上） 充実した部活動ができているという生徒（80%以上）</p>	<p>・継続活動していると答える生徒は 90.3%であった。(86.6%) ・消極的な転部は 3名、運動部への転部は 3名であった。女子生徒の運動部加入率は 30%で年々低下している。 ・充実した部活動ができていると答える生徒は 85.5%であり、昨年より微増した。(82.0%)</p>	<p>B</p>	<p>・各顧問の指導により、部活動の取り組み状況は概ね良好と言える。女子の運動部離れは喫緊の課題である。 ・施設の老朽化に伴う不備は否めないが、生徒のニーズに応えながら成長を促す活動となるように努めていきたい。</p>
	<p>施設等との交流の継続 交流報告会等の実施 (年1回以上)</p>	<p><E科> 御殿場特別支援学校との交流事業では、液体窒素を用いた超電導実験を行った。 <B科> 御殿場特別支援学校との交流事業では、クリスマスカードの製作体験を実施した。 <D科> 御殿場特別支援学校との交流授業では、3年生が担当し、絞り染め、クリスマスツリー製作を行った。</p>	<p>A</p>	<p><E科> 生徒はどのように説明したら安全に作業することができ、超電導実験を成功させることができるか考えながら準備し、当日も丁寧な対応ができた。 <B科> 生徒は、パソコンのワープロ機能について、実演を交えてわかりやすく説明すると同時に、特別支援の生徒と積極的にコミュニケーションを行い丁寧な対応ができた。 <D科> 今後も継続したい。</p>
	<p>主体的に御高祭に参加できたと答える生徒（90%以上）</p>	<p>・「主体的に参加できた」と答える生徒 93.9% (93.0%) ・御高祭の生徒満足度は 98.4%、教員から見た生徒の取り組みも 100%肯定しており、良い結果となった。 ・展示ブースをコンパクトにするなど、昨年度の反省を踏まえながら工夫して実施することができた。</p>	<p>A</p>	<p>・模擬店の数が少ないという意見はあったが、展示方法や発表に工夫がなされ、大成功であった。 ・日頃の成果発表と情報発信ができるような御高祭の方法や内容を検討して継続していききたい。</p>

		<p>充実した修学旅行であったと答える生徒 (95%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「修学旅行全体の満足度」への回答は「非常に良かった」「良かった」の合計 98.2% (99.1%) ・平和学習の充実度は100%であった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・LHR 等で事前学習の時間を確保し、平和学習への理解や担任を中心に学年部からの言葉掛けが生徒に響いたようだ。 ・生徒は集合時間をきちんと守り、途中帰宅するような体調不良や事故、トラブル等もなかったが、一部の生徒で人間的成長が必要な場面があった。
ウ	<p>身体能力の向上と教育相談の充実を図る。</p>	<p>クロスカントリー完走者(全員) 新体力テスト(優良校)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスカントリー大会では、毎授業において練習カードを用いて計画的に取り組むことで体力、記録の向上が図れ、大会では参加者全員が完走を果たした。 ・新体力テストにおいても記録カードを活用した効果的な指導により、男女とも優良校を達成できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を含めた規律正しい指導と練習カードにより、計画的で前向きな取り組みが実践できた。今後も毎時間のトレーニングを徹底することで、さらに体力の向上を図っていきたい
		<p>自分の体調(不調や課題)を把握し、Cラーニングに入力することができる。 健康診断の結果を健康維持や改善に役立てることができる。 (要受診者の受診率30%以上) 年間欠席日数10日以内の生徒70%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Cラーニングによる健康観察は生徒の中で定着してきている。 ・健康診断結果の受診率は43.6%であり、目標を達成した。(21.6%) ・年間欠席日数においても95%が欠席10日以内であり目標を達成した。(3日以内60.6%) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進において、生徒が自ら考え行動するための仕掛けづくりが必要。 ・言われたからやる、みんながやっているからやるのではなく、なぜやった方が良いのかを考えさせる保健教育を実践したい。 ・受診率・欠席日数共に数値をあげてもよいと思う。
		<p>問題を抱える生徒に対する相談体制の充実 必要に応じて外部機関との連携を図る。 特別支援教育に関する教職員研修を年度始めに実施 個別の指導計画に基づく情報共有の推進 道徳教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校、学校や家庭生活への不安など生徒の状況に応じて教員間で連携を取り、対応ができた。また、必要に応じて外部機関に連絡して対応ができた。 ・特別支援教育に関する教職員研修を年度当初に開催することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なケースを抱える生徒が増えている中で、教職員で連携を取って対応することができた。今後も生徒の実態に応じて、スピード感を持って対応していきたい。今年度もスクールカウンセラーの助言が大いに役立った。

エ	地域連携とキャリア教育を通して、生徒一人ひとりの特性を生かした進路指導の実現及び政治的教養への意識の向上を図る。	進路指導に満足していると答える生徒(95%以上) 進路先に満足していると答える生徒(95%以上) 支援を要する生徒の進路指導に関する保健課との連携の推進	・3年生進路アンケートによると、「学校の進路指導に満足している」は97.0%(98.8%)、「進路先に満足している」は、99.0%(98.8%)であった。概ね目標を達成することができた。	A	・引き続き、進路満足度の向上を図りたい。進学指導の見直しはもちろんのこと、支援を必要とする生徒への指導についても他部署と連携し進めたい。進路行事(インターンシップ・企業見学等)については、引き続き積極的に進めていく。
		チケット発行枚数(前年比5%減)	・チケット発行枚数は51枚(12月末)であった。昨年度は12月末で45枚であり、微増した。冬になり、今後増加することが予想されるが未然防止に努めたい。	B	・教員、生徒が共通理解を図り、公平な指導により正しい着こなしに結び付いたと言える。初期指導や服育講話も効果的であった。 ・新制服になった1年生の指導が増加した。女子の化粧や冬服違反も増加した。
		出前講座・公民館講座等の実施及び地域行事への参加(各科5回以上)	<p><E科> 課題研究で慶應義塾大学の研究室の講座に参加した。</p> <p><B科> 御リンピック、ごてんばっ木、駅まえ〜る、農協祭、足柄SAパンマルシェなど多数の地域行事に参加し、物販や木育、イベント企画などを行った。</p> <p><D科> 公民館での出前講座を1回実施した。</p>	B	<p><E科> 予算、担当者の負荷を考慮し、可能な限り出前講座等に対応する。</p> <p><B科> 生徒は観光コースに限らず、他学年の行事にも積極的に参加し、自分たちのできることを創造しチャレンジする力を育成できた。次年度についても、複数回の実施に向け内容を精査しながら継続したい。</p> <p><D科> 出前講座の依頼はなく、来年度も5回以上は厳しいため、回数の検討が必要。</p>

		<p>地域の企業等と連携した教育活動の推進（連携団体2か所以上）</p>	<p><E科> シモンズ富士小山工場を訪問し、ベッド等の製造工程を見学し、担当者から企業理念・製品を製造する上で重要なことについて説明を受けた。 <B科> 観光・商品開発の授業において、御殿場市役所や御殿場総合サービス、御殿場市観光協会、大田屋等との連携を図ることができた。また、アイザワ証券、プロスペラ学院ビジネス専門学校との連携を図ることもできた。 <D科> 1,2年生希望者に市役所、虎ノ門グループとの共同企画SDGs保育体験を実施した。3年生では保育部分案実習のために市内保育園幼稚園5ヶ所で実習を行った。また、軍手人形の披露、自作劇・おもちゃの披露、手作り絵本の披露も行った。</p>	<p>A</p>	<p><E科> 次年度も継続して、地域・企業との連携を図りたい。 <B科> 次年度も継続して、地域・企業との連携を図りたい。 <D科> 引き続き、地域連携を深めたい。</p>
		<p>地域防災訓練参加率（70%以上） ふじのくにジュニア防災士100%取得</p>	<p>・地域防災訓練参加率 38.0% (54.7%) ・ふじのくにジュニア防災士取得 100% (98.2%)</p>	<p>B</p>	<p>・防災教育において訓練参加を呼びかけ、部活動顧問との連携を図る。</p>
		<p>創造探究（総合的な探究の時間）をとおして自らの生き方や地域の課題について考えることができた と答える生徒（80%以上）</p>	<p>・創造探究（総合的な探究の時間）をとおして、自らの生き方や地域の課題について考えることができた と答える生徒 84.3% (78.3%)</p>	<p>A</p>	<p>・生徒の回答では目標を超える達成度合いが示されたが、教員の負担が大きくこのままの形を継続することは難しい現状がある。</p>

オ	教職員、生徒、保護者及び地域の視点から、信頼され、安心できる教育環境づくりを進める。	<p>体罰・不祥事などの 服務事故発生(0件)</p> <p>交通安全ゼロメーターの設置など教職員の安全意識を高め、交通事故0件とする。</p>	<p>・不祥事根絶研修を毎月実施し、コンプライアンスや交通安全意識の維持・向上に努めた。</p> <p>・体罰・不祥事などの服務事故0件、交通事故0件であった。</p>	A	<p>・引き続き、教職員一人ひとりが不祥事を「自分事」として捉えることができるよう、県教委からの通知(コンプライアンス通信)等を活用した校内研修を継続・充実させていく。</p>
		<p>監査・検査時の指示・指摘(0件)</p> <p>学校経営予算の執行残(0.5%)</p>	<p>・チェック・確認体制が機能し、1年間通して監査・検査時の指示・指摘が0件であった。</p> <p>・学校経営予算は適切な時期での執行を進め、計画どおりに執行できる見込みである。</p>	A	<p>・引き続き適正な会計処理に努めるとともに効果的な予算執行を進める。</p>
		<p>校内施設の危険箇所や防火等に関する安全点検を月1回以上 備品現有確認(1学期中)</p> <p>文書整理・不要品処分(年3回)</p>	<p>・施設点検を月1回以上行い、更に業者の点検時に同行するなどして保全に努めた。</p> <p>・備品の現有確認を計画どおり行い、更新等整理計画を検討した。</p> <p>・文書整理や不用品処分は計画実施とともに随時に行うことができた。</p>	A	<p>・引き続き職員相互での情報共有を大切にしながら、設備等の保全に努める。</p> <p>・保有設備や備品の有効活用を検討し、今後の再編整備に備える。</p>
		<p>学校HP・SNS更新(週3回以上)</p> <p>中学校との連携回数を増やす。</p> <p>保護者の広報・連絡等満足度(80%)</p>	<p>・生徒会や各部活動がSNSを効果的に活用し、学校生活のPRを行うことができた。</p> <p>・御高を知る会や御高PR大使(生徒)等により、中学校との連携を積極的に行った。</p> <p>・広報・連絡等に満足していると答える保護者は71.5%であった。(82.8)</p>	B	<p>・引き続き、多くの職員が学校HPやSNS等を活用し、学校生活の様子を保護者や中学校へ伝え、本校の魅力をアピールして行きたい。また、最新の情報や生徒達の声を中学校へ伝えていく。</p> <p>・保護者連絡システム(Cラーニング)を活用し、保護者との連絡をスムーズに確実にやっていく。</p>

		<p>信頼できる教員がいると答える生徒(80%以上) 校内でいじめや嫌がらせを受けたことがあると答える生徒(0人) 入学させて良かった保護者満足度(85%)</p>	<p>・信頼できる教員がいると答える生徒は77.9%であった。(74.7)</p> <p>・11月末実施の安心安全アンケートで「校内でいじめや嫌がらせを受けたことがある」と答えた生徒は、昨年より3名減少の12名。(1年8名、2年3名、3年1名)</p> <p>・入学させて良かったと答える保護者は86.0%であった。(81.7)</p>	<p>B</p>	<p>・生徒が多様化する中、お互いを尊重し、信頼し合える関係を築くことができるよう、個に応じた指導を充実させていく。</p> <p>・12名中「既に解決している」と答えた生徒は7名。残り5名は各HR担任が聞き取り、対応した。今後も教職員で連携をし、生徒が安心して生活できる環境づくりに取り組んで行く。</p> <p>・生徒達が安心安全に充実した学校生活を送れるよう、今後も保護者との連携を丁寧に密に行っていく。</p>
		<p>学校運営協議会を活用し今後の学校経営に生かす。</p>	<p>・学校運営協議会において、学校経営計画や現在の学校における課題等について、様々な立場から多くの御意見を聞くことができた。</p>	<p>A</p>	<p>・学校運営協議会で出された貴重な御意見を今後の学校経営等に生かし、さらに魅力ある御殿場高校を目指して教育活動を行っていく。</p>
<p>カ</p>	<p>教職員の働き方の適正化と同僚性を構築する。</p>	<p>勤務時間管理システムを効果的に活用する。 カリキュラム・マネジメントの観点による行事の精選 週1回定時退庁日の設定 会議・研修の持ち方を検討する。</p>	<p>・勤務時間管理システムへの入力を毎月定期的に呼びかけ、時間外勤務時間の多い職員については、産業医へ報告し指導助言を受けている。</p> <p>・今後の学校行事の在り方について、全教員にアンケートを行った。</p> <p>・毎週水曜日を定時退庁日とし、呼びかけている。</p> <p>・放課後に行われる会議や研修については、勤務時間内に終わるよう内容を精選して行った。</p>	<p>B</p>	<p>・勤務時間管理システムは、自身の働き方や昨年との比較をするためにとっても有効であるため、今後も正しい入力を呼びかけていく。</p> <p>・学校行事については、毎年教職員が減少していく中、安全面に考慮し、今年度実施したアンケート結果を参考に検討していく。</p> <p>・定時退庁日を意識することで、業務を計画的に進めるよう呼びかけていく。</p> <p>・会議や研修におけるICTの効果的な活用について検討する。</p>